

令和8年度 東大和市校長会



I 活動方針、取組、重点事項等

全校コミュニティ・スクールの推進 ～地域とともにある学校～

- ◎学校のウェルビーイングの向上
- 小中一貫教育の推進
- 教職員の人材育成（資質・能力の向上）と働き方改革の両立

II 活動・取組

1 学校のウェルビーイングの向上に向けた取組

（1）確かな学力

- ・1人1台端末による「個別の学び」と「協働の学び」の充実、A I 型教材の導入
- ・コミュニティ・スクール全校実施による「地域とともにある学校」の推進
- ・総合的な学習の時間を研究する学校への授業参観等を通して「探究的な学び」の充実

（2）豊かな人間性

- ・人権教育（ダイバーシティ教育）の推進
- ・いじめ防止の取組（児童の関わりアンケート年5回、保護者アンケート年3回実施）
- ・全校に設置された校内サポートルームの有効活用（不登校の解消に向けた取組）
- ・命の教育の実施（道徳授業地区公開講座、学校公開にて道徳の授業公開）

2 小中一貫教育の推進

（1）中学校区の交流会を年3回実施

中学校区ごとに小中一貫教育全体計画を作成し、各回テーマを設定して教員の交流会実施
（テーマを決めて授業公開、学校紹介、情報交換、A I 教材の共通取組など）

（2）中学校区ごとの学校運営協議会（CS）の実施

3 教職員の資質・能力の向上と働き方改革の両立

（1）校内研究の交流（全校研究奨励事業実施）

自校の校内研究を市内全ての学校に公開し、教職員が自由に参観して授業力の向上を図る

（2）組織の見直し

学年間で教科・単元の交換授業 授業準備時間の削減、教科担任制加配
受けもつ教科の教材研究の質の向上
先輩教職員が後輩教職員を指導する1分掌2人体制
生活時程の見直しと会議等の精選

（3）経営研修

学校経営を担う人材育成を目指し、年間を通して実施

対象：副校長、教育管理職選考受験者、4級職選考受験者、任用審査対象者、希望者

内容：開校式、論文指導、面接指導、閉校式

III 地区の特色

東京都の中央部北側にある本市は、ダム湖百選に選ばれた多摩湖をはじめとした狭山丘陵の豊かな自然のもと、「水と緑と笑顔が輝く東大和」をスローガンに、自然・地域文化を活かしながら個性と創造力を育む実践を重視している。市内小学校では、茶摘み、地場野菜づくり、郷土かるたづくり、トウキョウサンショウウオの飼育、狭山丘陵フィールドワーク、サステナッジ教育、スケート教室などの教育活動に取り組み、地域の人々との交流や体験学習が盛んである。